

国立ハンセン病療養所 医師募集

Guide Book

いま、ここにしかない
医療を支える

厚生労働省 国立ハンセン病療養所医師募集ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/hansen-doctor.html>

またはキーワード検索で

MOVIE

ホームページにて、実際に働いている
医師からのメッセージ動画を
ご覧いただけます。



厚生労働省 医政局医療経営支援課
国立ハンセン病療養所将来構想実現等推進室
〒100-8916 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 tel 03-5253-1111 (内線 2605,4412)

高度な技術ではなく 心を磨ける場所

profile

山本 典良 やまもと・のりよし
1963年岡山県生まれ
岡山大学医学部、同大学院医学研究科博士課程卒業
医学博士
外科専門医、日本外科学会指導医、
(臨床研修指導者養成課程講習会修了、プログラム責任者養成講習会修了、JATEC コース修了)



穏やかな瀬戸内の海に臨む長島愛生園。この施設の園長である山本医師は、「ここに来て後悔することはない」と話してくれました。その静かな語り口からにじみ出る強い想いをお届けします。

この選択肢とは何度も巡り会えない

1992年に呉共済病院の胸部心臓血管外科に勤めてから、この愛生園に来るまで、12カ所ほどの医療機関で勤務してきました。

2014年のある日、以前勤務していた国立病院岡山医療センターでの直属の上司であった藤田邦雄先生(当時岡山医療センター心臓血管外科医長)から、長島愛生園に来ないかと声をかけていただきました。藤田先生は愛生園の前園長にあたります。

外科医師の多くは60歳を過ぎたあたりでメスを置くのが普通です。

心臓血管外科医の場合は、それがもう少し早くて55歳くらいでしょうか。私はそのとき、まだ51歳になるうとしていた頃でした。正直、大いに迷いました。2週間、思い悩みました。

そのときに考えたのは、愛生園に「行かない」と決めたら、



もう二度とこの施設と関わり合うことはないだろう、ということでした。つまり、何度も繰り返し悩むことのできる選択肢ではない、ということです。

岡山赤十字病院玉野分院で内科副部長を経験し、外科以外の診療に携わった経験が後押ししたのかもしれませんが、ずっと国立の学校で学んできたので、国に恩返しをしたいと思う気持ちもありました。愛生園の副園長職を選んだのは、これだという大きな理由ではなく、いくつもの理由が重なった結果だったのだと、今は思っています。

打算のない「医療の原点」がここにはある

国立ハンセン病療養所は、急性期の医療施設ではありません。忙しさが、働きがいや自分のキャリア構築につながるような感じはしないかもしれません。

ただ、考え方によって違うかとは思いますが、私自身はこの施設には「医療の原点」があるのではないかと感じています。ここには、困っている人がいて、その人たちのためだけにつくら

れた施設です。病院のためではなく、何の打算も挟まず、純粹に入所者のための医療ができる。そういうスタンスで医療に携わることのできる機会は、あまりないのではないかと思います。



自分の勉強や研究の時間が持てる勤務環境

一方で、すべての病状に対して初診を行い、必要であれば専門機関を紹介することもあるので、総合家庭医という側面もあります。一般の患者であれば、病院が気に入らなければ他所を受診すればいいのですが、この入所者にはなかなかそういう選択肢がないのも事実です。であれば、私たちが、きちんと勉強しておかなくてはなりません。

比較的時間をとることのできる職場なので、自分の勉強や研究に充てる時間を持つことができます。週に1回の研修日設定も可能なので、その日を岡山医療センターや大学病院での勤務にあてることもできます。急性期医療の現場から遠のかずにいられるのも、愛生園の特徴でしょう。



医師が人間の心を磨くための場所と時間

外科医がメスを置いた後は、ふたつの道があると思います。ひとつは病院の管理者となる道。もうひとつは後進の育成に携わるといふ道です。私は、その真ん中の道を選んだといえるかもしれません。愛生園の管理者として、その責任を全うしようと思っていますし、一緒に働く医師やスタッフが成長するためなら、どんな協力も惜しみません。これから愛生園で働く人にとって、ここがよい施設となるように、運営していこうと思っています。ただ、それは私の都合です。「国立ハンセン病療養所で働く」という選択肢が考えられるのであれば、その人の都合で選ぶべきだと思います。

若い人なら、長い医師生活の中の一時期を愛生園で過ごす、ということになっていいでしょう。ただ、この施設に来て後悔をする医師はいないと確信しています。こういう施設の存在は、外から得られる「知識」よりも、中に入って働くことで得られる「知見」に価値があります。勤務することで、その人の人間性は広がるはず。その経験は、種のように残るでしょう。ここは、医師としての高度な技術を磨く場所ではないかもしれませんが、人間の、そして心を磨く、そういう施設なのだと思います。毎年およそ8,000人ほどの医師が誕生しています。国立ハンセン病療養所で必要としている人員は、その0.1%で

す。このパンフレットを手にとったことで、医師として人生のひとつの選択肢が増えてくれたらいいな、私はそう考えています。



MY LIFE STYLE

- 8:30 始業。
幹部ミーティング。副園長、看護部長、事務部長と。
木曜日は回診、病棟やセンターで診療。
火曜日は外来診療。
- 12:00 昼食。
弁当持参、園長室で摂る。
- 13:00 毎日のように委員会(感染対策委員会、薬剤委員会など)、園の行事に出席。入所者とレクリエーション、入所者のための慰問団体への立会(慰問演芸の鑑賞)。看護学校、見学者等への説明や講義。園内巡視(散策)。
- 19:00 帰宅。
自宅まで車で45分。交通渋滞を避け午後7時以降に退園。将来的には園長官舎に住むことも考えている。



休日の過ごし方

自宅の掃除を一手に引き受けている山本医師。2匹の犬の世話に追われ、週末は終わるそうです。



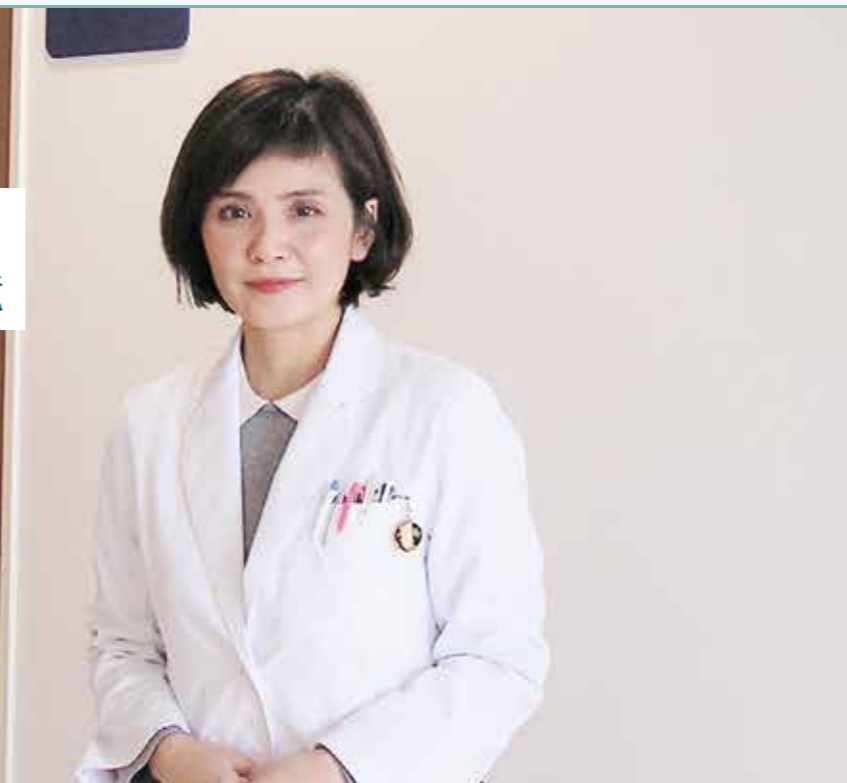
特別な勉強をしておく必要はないと思います。ただ、何かしらの「個人的な感想」を胸のうちに持って来てくれたら、それでいいのではないのでしょうか。



正しい選択を 後押ししてくれる職場環境

profile

肥田 綾 ひだ・あや
愛媛県生まれ
川崎医科大学卒業
医学博士（岡山大学）
日本内科学会認定医



同じ島内にある長島愛生園から車で10分ほどの邑久光明園。副園長の肥田医師が教えてくれたのは、女性ならではの「人生の変化と決断」を、職場の環境が応援してくれるということでした。

医師にとっての大きな決断

国立ハンセン病療養所で働くことを決める。それは、医師にとって、大きな決断となるでしょう。ただ、そのことだけに焦点を当てて考えるのは、少し違うかもしれません。

というのも、私自身、いまだいろいろと思ひ悩み、選択し続けている最中だからです。

私は1998年に川崎医科大学を卒業しました。同年、岡山大学に入局し、

その後、研修期間を経て結婚をしました。ちょうどその頃、医局人事担当者より、光明園の仕事が頼まれました。

この施設には研究中に短期間、勤務していたことがあったので、仕事の意義についての疑問はありませんでした。また、結婚して新しい環境になったこともあり、勤務時間が読める完全当直医制度ということも、勤務することを決める一つのポイントになりました。



より良い人生の選択ができる環境があります

その後、そのまま勤務し続けてきたかという、実は違います。2007年から2009年までは、デンマーク留学をすることになった夫に伴って私も休職し、一緒に留学をしました。帰国後、復職してからは2013年に出産をし、1年間の育児休業をとりました。副園長職を拝任したのは、2015年4月のことです。こう並べてみると、ずいぶんと好きにさせてもらっているように思えます。ただ、補足をさせてもらおうと、留学の手はずを整えてくださったのは当時の園長でした。妊娠中、体調を崩したときも「無理なく勤務できるように」と力を貸してくださいました。副園長の話をももらったときも、最初は無理だと断り続けていたのですが、スタッフや他の医師たちが「あなたならできる」と後押ししてくれました。

人生に必要な判断を下そうとしたその時々、邑久光明園という職場が大いに助けになってくれた、ということです。

どんな選択でも、人は必ず悩むと思います。大きな選択であればあるほど、真剣であればあるほど、悩むのではないのでしょうか。でも、私は職場環境に恵まれたお陰で、より良い選択ができたのではないかと感じています。



レベルの高い医療を支えてくれるスタッフたち

人事異動のないスタッフのほとんどは、10年以上勤めている人たちです。長く勤めている人たちの多い職場に、途中から入るのは、勇気のいることかもしれません。でも、スタッフたちの力強いサポートを受ければ、そんなことは杞憂だったと思えるはずですよ。

ここでの診療は情報がとても大事です。入所者の情報は、普段から身内のように接している、看護師や介護士が提供してくれます。

日常生活の様子から症状まで、細かく把握できることは、迅速な診断につながります。そういうスタッフたちに助けてもらっているな、という実感があります。

ですから、日頃からスタッフとコミュニケーションを取ることができれば、高いレベルの医療が行える、ということかもしれません。



また、ここは入所者にとって、生活の場でもあります。なので、カラオケ大会が大小合わせて年に5~6回あったりと、行事も多く催されます。そういう行事にも積極的に参加してもらいたいと思います。ちなみに、私と青木美憲園長のデュエットは、定番となっています（笑）。

時間に追われながらも充実した日々

邑久光明園は、女性にとって働きやすい職場だと思います。唯一、難点をあげると、通勤が少し大変なくらいでしょうか。出産や育児に対しても、スタッフの方々はとても深い理解を示してくれます。

同僚の男性医師には、休みの日に岡山大学の後輩に合気道の指導をしている方がいらっしゃいます。上手に趣味を取り入れ、人生の充実を図っているようです。

仕事は忙しくないのか、と問われれば、実際はそんなことはありません、とお答えします。毎日、医師としてすべき仕事はたくさんあります。私自身も時間に追われる毎日です。ただ、それは張り合いのある忙しさです。3歳になったばかりの息子は、よくはわかっていないと思うのですが、「ママ

かっこいい！ ぼくもお医者さんになりたい」と言っています。私の毎日の満足感が伝わっているのかもしれない。素直に嬉しく感じています。



MY LIFE STYLE

- 8:30 始業。
昨夜の申し送りなど。
- 9:00 火、金曜日の午前中は外来診療。
- 12:00 昼食。
園内外のメールのチェックをしながら、zoom講演会など聴取しながら。
- 13:00 病棟、センターの回診と診療。研修、委員会や会議。ICT委員会や医療安全管理会議など。その他、職員健診や人事評価など診療以外の仕事も。合間に急患対応も行う。
- 17:15 退所。
自家用車で約1時間半。通勤時間は、唯一のひとりの時間。一日の反省や明日の予定の確認、夕食の献立など考える。

休日の過ごし方

土曜日は子供のサッカーに付き添って朝から出かけるという肥田医師。疲れるけれど、子供とはなるべく一緒に外で過ごしたいそうです。



女性医師は大歓迎です！働く女性にとって、人生は選択の連続です。その時々で自分にとって正しい選択ができれば、人生に後悔は生まれません。



生きていく場所としての 奄美大島

profile

馬場 まゆみ ばば・まゆみ
長野県生まれ
浜松医科大学医学部卒業

皮膚科専門医、フットケア指導士、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター・摂食嚥下リハビリテーション学会認定士



南国奄美大島にあり、市街地からほど近い場所に建つ奄美和光園。地元とも密接な関係を築き続けている、文字どおりあたたかい施設で働く馬場医師は、生まれ育った場所から遠く離れたこの地を、人生を過ごす場所と決めました。

「南の地」への移住の夢と奄美和光園との出会い

長野県で生まれた私は、隣県である静岡の浜松医大を卒業し、関連病院での研修を経て皮膚科専門医を取得したのち、結婚しました。今は主人の希望で移住した奄美大島にある奄美和光園で勤務をしています。医員、医長、そして今は副園長となりました。

私が奄美和光園で仕事をするようになった経緯は、もしかしたら少し変わっているかもしれませんが、ただ、人生の岐路においてこのような選択もあるということ、少しでも参考にいただければ嬉しく思います。

学生の時は漠然としたイメージでしたが、皮膚科を専門に決めたところから少しずつ「患者さんに近いところで働きたい」と思うようになりました。また、将来的には南の方に移住したいとも思っていたので、夏休みのたびにあちこちの「南の地」を旅行しては、住むところを探していました。ある年、奄美大島に遊びに来て風土や料理に接し、馴染めそうだと直感しました。それは主人

も同じでした。それから4回、5回と遊びに来るたび、移住したいという気持ちが固まってきました。

当時、主人は柔道整復師と鍼灸師の勉強中で、卒業後は移住した土地で開業するというプランを持っており、それも移住が現実的なものになる要因の一つだったともいえます。

2010年9月の旅行の際に、奄美大島の中核病院の皮膚科医に相談すると、奄美和光園で募集していると教えてくださいました。問い合わせたところ、翌日に園長と面談することになりました。そしてとんとん拍子に話は進み、その日のうちに「すぐに来られる？」と尋ねられましたが、医局への義理もあり、翌年の4月から勤務を始めました。



治療だけでなく、生きていくことのための医療を

私はこのように、生活する場所を決めてから職場を決めました。生き方とその場所は、密接に繋がっていると思います。入所者の方にとって療養所は生活の場であり、終の棲家であり、後遺症などの治療を受ける場でもあります。ですから、効率的な治療よりも、「その人らしい生活を送るためのお手伝い」が重要だと強く感じています。

急性期病院では、治療して笑顔で玄関から退院することが目標です。でも、この施設の目標は、穏やかに生きていくことであり、変わらない日常そのものです。ガイドラインに基づく効率的な治療を受け入れていただけないことに、もどかしさを感じることもあるかもしれませんが、しかし、一つひとつ解決しながら、自分なりの医療を見つけることは、大いに意義があると思います。

一方で、時代に乗り遅れないため、治療についての理解を深めるため、ハンセン病の啓発のため、理由は様々ですが、可能な限り学会発表や論文作成することを自分に課しています。また、その時、その時で必要な勉強を怠らないようにし、その理解度を図るため、認定試験を受けるようにしています。奄美大島に来てから、新たに3つの資格を取得するなど、知識の向上・維持にも努めています。

チーム医療を大切にしたい診療を目指す方へ

遠く離れた場所で新たな人生を過ごそうという決断は、簡単なものではありませんが、最後に、この施設での仕事に大切なことをお伝えしたいと思います。それは、「チーム医療を大事にすること」です。最近はいずれの医療現場でも言われていることですが、あえて強調いたします。



職員数の少ない奄美和光園では、それぞれに高い専門性が求められます。しかし、リーダーたる医師が治療という専門性だけを追い求めてしまうと、うまくいきません。歴史も踏まえた入所者の背景、倫理観、宗教観を熟知しているのはスタッフです。当園の基本理念である「生命の尊厳と人権を守り、穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療の提供」のためには、スタッフの意見を尊重すること。それが求められるリーダーのあり方だと思います。また、奄美和光園では入所者の希望により皮膚科に限り地域の方の診察もしています。奄美大島には皮膚科医が少なく、病診連携における重要な医療資源という側面もあります。生活の場として、奄美大島という土地と切り離すことができない施設だといえます。生きていく場所は、自分で決めることができる。そして

そこで送る日々は充実したものになる、私はそう思っています。



MY LIFE STYLE

8:30	始業 メールや書類の確認 1日のスケジュール確認と調整
8:45	幹部ミーティング
9:30	治療棟、病棟、不自由者棟を回り、診療や処置にあたる 当直に備えて全入所者の体調変化や治療内容の把握 主治医として担当入所者の全身管理 皮膚科医として全入所者の皮膚トラブルに対応 NST、褥瘡、感染対策など、各委員長として対策や指示 会議
12:00	昼食 午後の診療の準備。休憩時間が十分とれず、スタッフに心配されることもしばしば
13:00	月・火・金曜日は外来診療（1日平均30人） 水・木曜日は外来の予約処置、検査、手術、自費診療 入所者の診療 会議 皮膚科専門医としての診療の他、感染症や高齢者医療（認知症、摂食嚥下、終末期ケア）の勉強や対策、副園長としての書類作成や確認作業（決裁）など、業務が多岐に渡り、終わるまで帰れません
XX:00	帰宅 敷地内に官舎があるので通勤時間は30秒ですが、ハブに注意！

休日の過ごし方

皮膚科処置を必要とする方が入院している場合は休日出勤もあります。また平日に完遂しなかった業務をすることもありません。ノルマが終われば、主人と港でお弁当を食べたり、家で論文を読んだり、一息つきます。

「〇〇をしたい」と始めからビジョンを固めてしまうと、かえって上手くいかないかもしれません。視野を広げ、入所者のために何ができるのかを考えて動いているうちに、自然と居場所ができると思います。





入所者とともに施設を
運営していくということ

profile
坂本 浩之助 さかもと・ひろのすけ
1960年埼玉県生まれ
富山医科薬科大学医学部医学科卒業
医学博士（群馬大学）
群馬大学医学部客員教授
臨床研修指導医

草津温泉からほど近い山間にある栗生楽泉園に、新任の園長として赴任してきた坂本医師。医療教育に携わる中で感じた、地域貢献と人間関係の重要性を実践しながら、日々を過ごしています。

先輩の声かけから社会貢献の一つとしての決断

私は2015年に、園長としてここ栗生楽泉園に着任しました。いままでと違った、新しい環境で働く「新人」の立場と、施設運営という「園長」の立場、その両方からお話できればと思います。

富山医科薬科大学（現・富山大学）医学部を卒業した後、群馬大学病院で第二内科（現・臓器病態内科学）に入局し、高血圧や心臓病などを専門としてきました。群馬大学医学部附属病院総合診療部、高崎健康福祉大学看護学部の教授などを経て、群馬大学大学院医学教育センターの副センター長・准教授として働いてきました。



園長就任の直接のきっかけは、前園長の定年に伴って後任を探していると、先輩から声をかけていただいたことです。また、看護学部の学生たちと何度も見学に来ていたので、思うところもありました。ご縁があるなら、社

会貢献の一つとして引き受けよう、そう思い至りました。

社会性や地域性と関わり、貢献できる仕事

私は後年、医学教育に携って来ました。学生たちに伝えなくてはならないことを整理し言語化する中で、「社会貢献・地域貢献」の重要性を強く感じるようになりました。大学病院の医師に求められていることは、診療と研究、そして教育です。近年では社会貢献・地域貢献が加わり、4本の柱となっていると思います。

県域での活動が基礎となる国立大学医局の医師だからこそ、仕事をしていくうえで、社会性や地域性を無視できません。もう一步踏み込んで言うと「社会に貢献できないのは少し恥ずかしいことだな」と感じていたのです。

自宅のある埼玉県の深谷から草津まで車で通勤すると、片道2時間半ほどかかります。なので、現在は月曜日の朝に来所して、平日は草津町のリゾートマンションに宿泊しています。金曜日は群馬大学病院で医学生の実習指導や、医師の人材確保のため指導医らと情報交換をしています。

また、全国の療養所の園長が集まる会議などが定期的に開かれるので、月に数度は必ず出張をします。



職員と入所者が車の両輪となって運営する施設です

医学教育に携わっている中で、学生たちに口を酸っぱく指導していたことの一つに、「医師と患者の良好な関係構築が重要だ」ということがあります。ここでは患者といわず、入所者と呼びますが、関係構築の重要性は同じです。ですから、自分でもそれを実践しようと心に決めていました。

園長であり新人である私ですから、まず着任してすぐに看護部長とスタッフと一緒に全員の居室を訪問しました。これは看護部長の発案でした。



みなさんとても暖かく迎えてくださり、「園長が挨拶に来たのは初めてだよ」と喜んでくれました。誕生月には手書きのバースデーカードを渡したりもしています。

入所者の皆さんは、若い時期に筆舌に尽くせないご苦勞をなさってきた方たちです。これまでの長い歴史の中で、職員たちと必ずしも円満ではなかった時期もありました。だからこそ対立の構図を描かず、職員と入所者が車の両輪となって「施設を運営していく」ことが必要だと考えています。そう、入所者も施設を形作っているのだということを、忘れてはいけません。療養する側も働く側も、施設の存在意義を感じてもらいたい。そう思って仕事をしています。

閉じていく施設である一方、重要な教育資源の場所

先進国ではハンセン病は過去の病気であり、教科書には文字が載るだけとなっています。そういう意味では、実際の症状・後遺症に接し、ハンセン病に携わること、そして回復者の声を実際に聞けるということは、医師として大きな財産になると思います。開発途上国の医療を志している人であれば、東南アジアなどでは、まだまだハンセン病は現在の病気ですから、その価値はいうまでもありません。患者の「気持ち」の理解は、診療する上で必要不可欠なことなのです。ここで、1人の入所者にたっぷり時間をかけて診察することが、医療面接のスキル向上につながることでしょう。国立ハンセン病療養所とは、教育、研究、啓発、ボランティ

アなど、諸々の活動の前線でもあります。これから活躍してくれるであろう、若い人材の教育資源としても重要な場所なのだと確信しています。



MY LIFE STYLE

- 8:30 始業。
事務長補佐と一日のスケジュール確認。
医局長から夜間の入所者の状況報告。
園内巡視。
- 9:30 月曜日は幹部ミーティング。
(事務長、総看護部長と園内の日々の出来事について情報共有し、対応策を検討。)
事務室での決裁書類のチェック。
火、水曜日は外来診療（内科・循環器科）。
- 12:00 昼食。
コンビニの移動販売車で買った弁当など。
園長室でテレビを見ながらつるぐことも。
- 13:00 会議。特に火、木曜日に多い。
園内巡視、入所者の居室訪問、来園者や職員との面談、書類作成、読書など。
病棟回診。
- 18:00 以降 帰宅。退勤時刻は不規則。
平日は草津温泉のリゾートマンションへ。
週末は退勤後に深谷市内の自宅へ。

休日の過ごし方

お城が好きで、鉄道も好きな坂本医師。温泉巡りも含め、これからもっと活動的に過ごしたいとのこと。



自然環境に恵まれ、施設内には草津の源泉から引いた温泉もあります。ウィンタースポーツを満喫している職員もたくさんいますよ。



医師にとって積極的な 選択肢となりうる施設

profile

野村 謙 のむら・けん
1961年沖縄県生まれ
琉球大学医学部医学科、同大学医学部医学科大学院卒業
医学博士
日本外科学会認定医/日本外科学会認定登録医/日本消化器
外科学会認定医/日本胸部外科学会認定医/消化器内視鏡専
門医/乳腺認定医

一般の医師として赴任後、長い間愛楽園とともに
過ごし、所長となった野村医師。療養所のすべて
を知悉しているからこそ、ここが医師としての有
意義な人生を送る一助になると語ってくれました。

国立療養所は医師にとってまだ終わらない場所

まず最初にお伝えしておきたいことがあります。それは、国立療養所という施設が「まだ役目を終えていない」施設だということです。全国にあるどの施設も、入所者の高齢化などで、その役目を終えつつあることは確かです。しかし、そのときまではまだ数十年の時間があります。さらに、施設の現在運営されている実態を知れば、国立療養所が多く医師にとって仕事をする場としていかに成熟した施設であることがわかってくれると思うのです。

医師に対する支援システムも成熟している

現在、沖縄愛楽園には園長の私と副園長、歯科医師、そして内科医師の4名が常勤というかたちになっています。そのほかには、9名の医師がローテーションで勤務し、大学院生も数年間のスパンで診療にあたっています。彼らは常に新しい知見をもたらしてくれ、お互いの交流も豊かです。大学院生時代にこの施設で勤務をして、その後就職をすることとなった医師もいます。2021年9月から勤めて

くださっているこの医師は、救命救急が専門で、現在もドクターヘリに搭乗しながら当施設でも勤務しています。この施設が医師にとって有益である大きな側面は、勤務する医師をサポートするシステムが成熟している、ということです。私の場合は国立病院の臨床医として働きながら、この施設で勤務しつつ臨床例をまとめ、研究を進めることができました。呼吸器外科が専門でしたが、この施設に来てから8つの専門医の資格を得ました。海外留学に関しても、支援するシステムも確立していて、来年度から1名の留学を計画しています。医師のキャリアを確立するためには、長い時間が必要です。30代40代でこの施設を選ぶという選択肢は、とてもメリットのあることではないか、と思います。数年間だけと期間を区切って勤務する、そういう選択も可能です。

キャリアを積みながら人生の目的を見つける

私は今年で勤務24年を数えます。勤務医から始まり、副園長となり、現在は園長に奉職して7年ほどになります。勤務を始めた頃は、500人弱の入所者も、最近では4分の1ほどにまで減っています。思えばかなり長い間この施設で過ごしてきました。この施設に来たきっかけは、単なる大学医局人事でした。毎日の激務で体が悲鳴をあげてきたというタイミングでもあり、とりあえずは働いてみようか、というような感じでした。勤

務してみると、先ほど触れたように勉強をする時間も取れ、一方で急性期医療からも遠ざかることもなく、自分にあった働き方なのかもしれない、と思うようになりました。入所者のみなさんと触れ合う中で、私の考え方は次第に変わっていきました。初めは、大変なご苦労をなさってきた特別な人たち、という頭でっかちな先入観がありました。でも、おじい、おばあはこの施設で普通に暮らしています。おじい、おばあの望みは普通に楽しく暮らしていくことであり、それは多くの人たちと何の違ひもありません。だったら、私にできることは、最後の最後まで一緒に健やかに暮らしていけるような環境をつくることなのだ、と思うようになったのです。



理想的な地域医療のモデルケース

急性期医療の現場では、1分でも1秒でも命を永らえさせることが目的になりがちです。私もそう思っていました。そうすると、どうしても苦しい表情で最期を迎える患者さんをたくさん見ることになります。人の最期の顔が苦しい表情であるということは、とても辛いことです。住人の入れ替わることのないこの施設で、見知った人たちが笑顔のまま最期を迎えてくれるようにするにはどうしたらいいのか。長く勤めていく中で、そう考えるようになりました。それぞれの人にとっての最善の最期はどうかたかなのかを知りたくて「人工呼吸はしますか」、「胃ろうはどうしますか」と問いかけるところから始めたのですが、「治療してくれないつもりか」と、最初は叱られてしまいました。しかし、私が園長になってじっくりと話をする機会を増やし、また穏やかに亡くなっていく人を見送るような機会が増えてくると、入所者のみなさんの意識も少しずつ変わってきました。キリスト教徒の入所者たちに見守られて、賛美歌が歌われるなかで亡くなった方がいました。その姿を見て、同席したおばあが「先生、よかったねえ、怖くないねえ。あんな（ふうに逝ける）ならいいね」と言ってくれました。当施設には近隣の小中学生たちが年間を通して多数見学に訪れる機会もあり、地域包括ケアという国が掲げる目

標に対しても、継続的なアプローチがなされていると思います。医師にとって愛楽園での勤務は、近未来の理想的な地域医療を模索する一手になるのではないかと、そう思っています。



MY LIFE STYLE

- 8:30 始業。
医師、看護部、事務部の幹部4人でミーティング。園の将来構想の検討や、ハンセン病問題啓発活動の講演準備
- 9:30 外来診察のある日以外は、園内を巡視。入所者のおじい、おばあと立ち話をしたり、触れ合ったり。
- 13:00 昼食後、医療安全、感染症対策、ライフサポートなど、連日さまざまな議題の会議。
- 15:00 会議終了次第、園内巡視。自転車も使う。絶景の中、風に吹かれながら思索。
- 17:30 入所者の夕食時間。日中顔を合わせられなかった人たちと会話をする機会。現在の入所者はおよそ110人。
- 19:00 帰宅。片道60キロを運転して70分ほど。

休日の過ごし方

家族と時間を過ごすのがメイン。趣味はハイブリッドカーの燃費運転。データを蓄積するのが楽しい。現在自動車メーカー主催の燃費選手権でディフェンディングチャンピオン。

医師たちに、働き続けたいと思っ
てもらえるような支援を惜しま
ないことを約束します。チーム
での医療、水平的な働き方をし
たい人なら、きっと楽しく有意
義な時間になることと思います。



国立ハンセン病療養所一覧


<p>1 国立療養所 松丘保養園 〒038-0003 青森県青森市大字石江字平山 19 tel 017-788-0145</p>	<p>8 国立療養所 大島青松園 〒761-0198 香川県高松市庵治町 6034-1 tel 087-871-3131</p>
<p>2 国立療養所 東北新生園 〒989-4692 宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢 1 tel 0228-38-2121</p>	<p>9 国立療養所 菊池恵楓園 〒861-1113 熊本県合志市栄 3796 tel 096-248-1131</p>
<p>3 国立療養所 栗生楽泉園 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津乙 647 tel 0279-88-3030</p>	<p>10 国立療養所 星塚敬愛園 〒893-8502 鹿児島県鹿屋市星塚町 4204 tel 0994-49-2500</p>
<p>4 国立療養所 多磨全生園 〒189-8550 東京都東村山市青葉町 4-1-1 tel 042-395-1101</p>	<p>11 国立療養所 奄美和光園 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町 1700 tel 0997-52-6311</p>
<p>5 国立 駿河療養所 〒412-8512 静岡県御殿場市神山 1915 tel 0550-87-1711</p>	<p>12 国立療養所 沖縄愛楽園 〒905-1635 沖縄県名護市字済井出 1192 tel 0980-52-8331</p>
<p>6 国立療養所 長島愛生園 〒701-4592 岡山県瀬戸内市邑久町虫明 653 tel 0869-25-0321</p>	<p>13 国立療養所 宮古南静園 〒906-0003 沖縄県宮古島市平良字島尻 888 tel 0980-72-5321</p>
<p>7 国立療養所 邑久光明園 〒701-4593 岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6253 tel 0869-25-0011</p>	



各療養所はホームページもありますので、さらに詳しい情報を知ることができます。
国立ハンセン病療養所医師募集サイトの施設紹介ページからのリンクか
キーワード検索にてご参照ください。

厚生労働省 国立ハンセン病療養所医師募集ホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/hansen-doctor.html>

またはキーワード検索で



国立療養所 松丘保養園

青森県

こくりつりょうようじょ まつおかほようえん



地域に開かれた 医療福祉施設を目指して

明治42年に東北6県及び北海道の連合立として北部保養院の名称で設立し、昭和16年に国立に移管され、国立療養所松丘保養園と改称し、この間112年に渡ってハンセン病医療を担ってきました。

当園は青森市西部の市街地の中にあり、近隣の小中学校や地域の町内会など地元住民との交流も活発です。また、入所者の遺志を継いで創立以来亡くなられた入所者を記念して1600本の苗木を植える「松丘の森プロジェクト」が地域住民等の協力により進行しています。新幹線の新青森駅から1km、青森空港から車で20分の至便の地にあり、東に八甲田山、北に陸奥湾を望み、三内丸山遺跡もほど近く豊かな自然に恵まれています。入所者一人一人が歩んできた道のりと生命の尊さを深く認識し、地域の人々と共に歩む、豊かでこころあらかな療養環境に勤めております。

松丘保養園の魅力は何といってもハンセン病から回復した入所者の存在です。現在ここに暮らしている入所者の方々は、



施設概要

開所年月日	明治42年4月1日
敷地面積	237,966㎡
所在地	青森県青森市大字石江字平山19
電話番号	017-788-0145
診療科目	内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科

かつてハンセン病を理由に隔離収容され治療により治癒した後も「らい予防法」の下、様々の要因で社会復帰できず園に留まり、今日まで平均64年を超える歳月を過ごした方々です。出身は北東北3県と北海道を中心に11都道府県に及び、それぞれ筆舌に尽くしがたい経験をお持ちです。日常的な交流の中で医療者としてより以前に人間として人生の大先輩である彼らから学べることは得難い機会です。

医学的には末梢神経障害、視覚障害などハンセン病後遺症による機能障害に加えて加齢による全身的合併症を持つ高齢の患者さんに対する総合内科的、全人的アプローチを心がけています。幸い弘前大学医学部各科から医師派遣によるサポートと、入所者数を優に超える看護師・介護員らスタッフによる手厚いケアが可能な体制があります。平成30年から導入を始めたユマニチュードの技法によりケアの質も変わりつつあります。既に運用されている保険診療病床を活用し、入所者だけでなく地域の高齢者にも開かれた医療福祉施設を目指している松丘保養園と一緒に働きませんか。

国立療養所 東北新生園

宮城県

こくりつりょうようじょ とうほくしんせいえん



入所者の人権を尊重し、 安全・安心な医療を提供します。

当園は、昭和14年に宮城県北部の地に開設されました。近くには白鳥の飛来で有名な「伊豆沼」、西北には「秀峰栗駒山」を望み、約35万平方メートルの敷地は風光明媚で閑静な場所です。ハンセン病の基本治療である化学療法のために「基本科」を設置し、全身症状を観察しながら各種合併症治療のため、内科・外科・皮膚科等の6診療科を設置しています。一般軽症者寮の入所者には内科と外科の診察を行い、不自由者棟には医師が訪問し、内科・外科の診察を行っています。入所者は故郷を離れて、ハンセン病後遺症および高齢化に伴う各種合併症に対して長期療養生活を送っており、当園は療



施設概要

開所年月日	昭和14年10月27日
敷地面積	351,291㎡
所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
電話番号	0228-38-2121
診療科目	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

養の場であるとともに、生活の場ともなっています。毎年、ゲートボール大会、花火大会を開催するなど、積極的に地域交流を図っています。私が、東北新生園の勤務を薦められたのは、国立病院の外科に勤めていた頃で、消化器外科を中心とした、救急医療にも携わっていました。仕事内容は、入所者の外科処置が中心で、感染巣の除去、掻爬、ドレナージなど、外科総論の対応のため、すぐに慣れることができました。入所者ともすぐに親しくなり、心を開くといろいろな過去の事も話してもらい、人生の師のように思える入所者も何人も出来ました。これはこれまでの医師生活の中で大きな財産と考えています。勤務は時間的に余裕があり、研究専門の時期に当園に勤務して、論文を書いたり、学会発表の準備をする医師も多くいます。皇室との関わりも多く、宮家の冠を戴いたゲートボール大会を主催していて、皇室の方に参加頂くこともあり、他の病院では味わえない魅力に満ちています。

国立療養所 栗生楽泉園

群馬県

こくりつりょうようじょ くりうらくせんえん



国立療養所栗生楽泉園について

当園のある群馬県の草津温泉は、古くから万病に効果のある薬湯として全国に名高く、全盛期の街道筋の賑わいは、また格別のものであったと語り伝えられています。

ハンセン病を病む湯治客も相次いで集まり、「湯之澤」と称するハンセン病患者の集落が形成されていたため、ハンセン病予防上放置できないと、昭和5年に全国2番目の国立療養所として当園の設置が決定されました。

開園当初 115 人だった収容定数は、湯之澤からの移転希望者を 10 年間にわたり徐々に受け入れるとともに増え続け、昭和 17 年 12 月、当初の目的であった湯之澤のハンセン病患者の移転業務を完了しました。

その結果、入所者数は昭和 19 年には 1,335 人となりましたが、新規発生患者の減少、社会復帰及び高齢化等により年々入所者数は減少しております。

当園では高齢化の進む入所者が最期までその人らしく生きられるように、入所者一人ひとりの意向を尊重した生活支援体



施設概要

開所年月日	昭和 7 年 11 月 16 日
敷地面積	742,257 m ²
所在地	群馬県吾妻郡草津町大字草津乙 647
電話番号	0279-88-3030
診療科目	内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

制を構築するための多職種チーム「支援の会」を中心に全職員が一丸となって入所者の療養生活を支えています。

診療は時間に追われることなく、じっくりと入所者一人ひとりと向き合うことができますし、年次休暇も取得できますので、ワークライフバランスを重視する医師にも最適の職場です。園内には草津温泉から直接お湯を引いた源泉掛け流し風呂があります。夏には草津音楽の森でクラシックコンサートを、冬には草津国際スキー場でスキーやスノーボードを楽しめます。大河ドラマ「真田丸」に登場する上田城、岩櫃城、沼田城などの歴史観光スポットも近場にあります。

また、当園では地元住民と入所者との交流を促進するための園内行事を開催するとともに、ハンセン病問題について理解を深めていただくため、当園の歴史資料館ともいべき社会交流会館の見学や、国立ハンセン病資料館の別館にあたる「重監房資料館」の見学も受け付けております。

あなたも魅力あふれる当園で私たちと一緒に働いてみませんか。

国立療養所 多磨全生園

東京都

こくりつりょうようじょ たまぜんしょうえん



国立療養所多磨全生園について

当園は、明治 42(1909)年 9 月 28 日に第一区府県立全生(ぜんせい)病院として発足したハンセン病の療養施設です。昭和16(1941)年に厚生省に移管され、国立療養所多磨全生園となりました。

当園は、東村山市の東北端にあり、清瀬市の西端に隣接し、新宿の西方、所沢市の東南方に位置しており、周辺は、武蔵野の雑木林の面影を残した緑地の多い静かな自然環境です。当園の理念は、入所者一人ひとりが心の安らぎを得て療養できる環境を提供し、生きていることの充実感を満たせるように医療・生活の充実をはかることです。

当園の医療については、ハンセン病や後遺症の治療だけではなく、高齢化および合併症に対応するため臨床各科を備えた総合医療により、入所者の健康を支えています。さらに、医療連携により専門的な医療に対応しています。

国立療養所多磨全生園は、いわゆる「清瀬の病院通り」と言われて結核療養所などが多数あったその一角にあります。約



施設概要

開所年月日	明治 42 年 9 月 28 日
敷地面積	358,116 m ²
所在地	東京都東村山市 青葉町 4 丁目 1-1
電話番号	042-395-1101
診療科目	内科、外科、整形外科、精神科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、歯科

36 万 m² の広大な緑の多い敷地の中に病棟、介護棟と居住棟に分かれており、施設内ではハンセン病に過去に感染し、現在は治癒していても、ハンセン病によるさまざまな障害や、国の施策により被った社会的・精神的苦痛により、園外で生活困難な方々が療養されています。入所者の平均年齢は 87 歳を超えましたが、急性期医療は近隣の医療機関の助けを借りながら、入所者の一人ひとりが健康で平安、生きがいのある生活を送れるように、医療の提供をしています。

全生園の中では時間が比較的ゆっくり流れているように感じられます。子育て中や家族介護の方でも、医師としてのキャリアを中断せずにその後の飛躍に備えるには魅力的な環境と考えています。

また附属の看護学校があり、一学年 20 人の小規模校ではありますが細かい所まで目の届く指導で、高い看護師国家試験合格率を誇っています。

当園で働く事に興味を持っていただいた方にはぜひご連絡を頂き全生園の見学とともに隣接の国立ハンセン病資料館にも足を運んでいただければと思います。

国立駿河療養所

静岡県

こくりつするがりょうようじょ



地域と共生し、また貢献し、 良質な医療を提供する施設を目指して

国立駿河療養所は、世界遺産・富士山を眺望できる箱根外輪山の標高 500 メートルの地にあります。東京ドーム 8 個分の敷地の中には、外来・病棟の医療施設、入所者住居・医療ケア施設、入所者サービス部門、ハンセン病資料室、講堂、礼拝堂、教会、神社、保育所、公園などがあり、所外からの訪問・見学・研修者が利用できる研修・宿泊施設も整備され、毎年多くの利用者がいます。

本施設は全国 13 カ所に設置された国立ハンセン病療養所の 1 つで、東海北陸地区では唯一の国立施設で昭和 20 年に開所されています。その由来は第二次世界大戦さなかの昭和 19 年、ハンセン病を発症した傷痍軍人の療養所として設立され、昭和 20 年 6 月最初の傷痍軍人が入所したことによります。終戦後は、一般のハンセン病患者のための国立施設として、開所からまもなく 80 年を迎えようとしています。施設内には、治療棟（外来部門）、病棟に加えて 4 つの居室・

施設概要

開所年月日	昭和 20 年 6 月 10 日
敷地面積	370,703 m ²
所在地	静岡県御殿場市神山 1915
電話番号	0550-87-1711
診療科目	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

介護ケア棟があります。治療棟では常勤医師(内科、外科、歯科)に加え、非常勤医師による眼科、耳鼻科、心療内科、整形外科等を加えて総合的な医療を行います。コメディカル部門は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などからなり、入所者に対して、適切な治療・ケア、検査が実施できる体制であり、看護課は看護師、介護員が日常の治療・ケアにあたっています。放射線科ではマルチスライス CT などが備わり、検査科は一般臨床検査に加え、高齢者に多く見られる感染症対策に力を入れています。呼吸器疾患、消化器疾患にはPCRを導入し、急性・慢性期疾患や年度健診に対応しています。現在 47 名、平均年齢 86.5 歳の高齢の入所者が安心して療養生活ができるよう職員一同入所者の皆さまの人格を尊重し、安心して受けることのできる医療を提供するよう努めています。富士山、箱根などの観光地を背景にした駿河療養所で、志を同じくして医療やケアを行う仲間を歓迎します。



礼拝堂



園からの富士山

国立療養所 長島愛生園

岡山県

こくりつりょうようじょ ながしまあいせいえん



長島愛生園とその歴史

長島愛生園は日本最初の国立療養所として昭和 5 年に設立され、岡山県南東部瀬戸内海に浮かぶ東西 16 km の細長い島に位置し、南に小豆島を望み温和な気候で自然環境に恵まれております。かつては船で瀬戸内海を渡っての来園だったものの、昭和 63 年に邑久長島大橋が開通し、本土との交通網が整備されると同時に、島内道路の整備や路線バスが乗り入れるようになったことで、交通の便は飛躍的によくなりました。当園では、入所者の方々の病気の治療と生活のお世話をすることが当園の役目だと考えており、入所者一人ひとりの幸福と福祉のために医療と看護、介護によって最善をつくすよう、高齢化に伴う老人性疾患の治療を中心に、よりよい医療の提供を心がけております。

長島愛生園は日本初の国立療養所として昭和 5 年に誕生し、今でもその当時の建物が園内に点在し、その歴史の一端に触れる事ができます。ところでかつて当園に精神科神谷美恵子

施設概要

開所年月日	昭和 5 年 11 月 20 日
敷地面積	2,414,889 m ²
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6539
電話番号	0869-25-0321
診療科目	内科、精神科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科

医師が勤務されていました。以下は彼女の詩「らいの人」からの抜粋です。「なぜ私たちがなくあなたが？あなたは代わって下さったのだ、代わって人としてあらゆるものを奪われ、地獄の責苦を悩みぬいて下さったのだ。」そして神谷医師葬儀の際に入所者（患者）が捧げた詩があります。「そこに一人の医師がいた 五十年の入院生活をつづけている私たちにとって 記憶に余るほどの医師にめぐまれてきたわけではないが めぐみは数ではない そこには一人の医師がいた 「なぜ私たちがなくて、あなたが？」とあなたはいう 「私の “初めての愛”」ともあなたはいう 代わることのできない私たちとのへだたりを あなたはいつもみずからの負い目とされた そこにはたしかに一人の医師がいた 私たちは、いまとなっては真実にめぐり会うために病み 病むことによってあなたにめぐりあい あなたのはげましを生きることで(後略) ここに入所者の生きた証がある。ここには医療の原点がある。ここにはたしかにあなたが…。



事務本館



納骨堂

国立療養所 邑久光明園

岡山県

こくりつりょうようじょ おくこうみょうえん



入所者が受けた 被害の回復をめざして

当園の前身である外島保養院は、法律「癩予防二関スル件」に基づき、明治42年に大阪府を主幹とする2府10県連合立により大阪市内に設置されました。もともと海拔ゼロメートル地帯の河口という危険な立地でしたが、昭和9年に室戸台風の直撃を受け壊滅し、入所者173名など多くの犠牲者を出しました。2府10県での復興は地域住民の反対により断念し、故郷から遠く離れたこの長島が選ばれました。岡山市の東南35kmの瀬戸内海に浮かぶ長島は、瀬戸内海の温暖な気候と四季折々の美しい自然に満ちあふれた環境で、療養に最適の地とされています。しかし、こうした美しい自然も、国の隔離政策により地域から追いやられて生涯を過ごさざるを得なかった入所者の目にはどのように映ったのでしょうか。

入所者は国の誤った隔離政策により人生全般にわたる被害を受けてきました。また、隔離政策にハンセン病医師も深く関



施設概要

開所年月日	昭和13年4月27日
敷地面積	834,314 m ²
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253
電話番号	0869-25-0011
診療科目	内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科

わってきたことは否定しようのない事実です。従って、入所者の受けた被害を回復することは国のみならず、私たち医師の責任であると考えられます。入所者は若い頃に入所してから療養所で人生の大半を過ごし、今まさに最後の大事な時間を過ごされています。入所者に「生きていてよかった」と感じて頂けるよう、一般と遜色の無い医療や、後遺症に応じたきめ細かいケアはもちろん、エンドオブライフケアを導入し入所者一人一人が最後まで自分らしく生きられるようなサポートに努めています。また、私自身は入所者とのつきあいの中で多くのことを学ばせて頂きました。入所者は厳しい隔離政策の中で生き抜いてきましたし、自治組織を結成しらい予防法を廃止させたり、裁判を通して隔離政策の誤りや国の責任を明らかにするなど、自らの手で権利を回復してきました。こうした生きざまは私たちに人間の尊厳とは何かを問いかけているように思います。ぜひ療養所に勤務することの魅力を実感されることを願っています。

国立療養所 大島青松園

香川県

こくりつりょうようじょ おおしませいしょうえん



入所者が与えられた命を肯定し 輝かせるために支えたい

当園は、明治42年に中四国8県連合立「第4区療養所」として開設されました。その後、昭和16年に国立に移管され、昭和21年に現在の名称となりました。高松港の北東の瀬戸内海に浮かぶ面積62haの小島「大島」にあります。高松港から官用船が、庵治港からは通勤船として民間委託船が運航していて、およそ20分で大島に着きます。白砂青松に囲まれた美しい島ですが、ここに隔離された入所者の気持ちを思うと心が締め付けられる思いがします。

入所者はセンターとよんでいる居住棟のそれぞれの部屋で生活されています。外来部門である治療棟と病棟もありますが、医療の主体はセンターで行っていて、在宅医療に近いイメージです。ハンセン病の後遺症の治療やケアと一般診療を行っています。園内では対応できない専門的な医療については島外医療機関への委託診療を行っています。また、離島であるために救急搬送には高松市の救急艇を依頼します。防災ヘリ



施設概要

開所年月日	明治42年4月1日
敷地面積	602,046 m ²
所在地	香川県高松市庵治町6034-1
電話番号	087-871-3131
診療科目	内科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

ポートも設置しています。大島は瀬戸内国際芸術祭の会場の1つになっていて、会期中には多くの方が訪れます。アートを通して交流や啓発活動が行われています。

大島青松園は規模が小さい施設ですが、その分入所者と職員との距離が近いです。全職員で入所者一人一人の生活を見守り、寄り添うことを心がけています。多職種で協力し知恵を出し合い、個別的なニーズに細やかに対応しています。皆で楽しむために、様々なイベントの企画・運営も大切な業務になっています。職員は、仕事を通して入所者の人生や人格に触れ、人として大切なことを学ぶことができます。そして、そのようなことができるのも今しかありません。

当園入所者であった詩人・塔和子さんの詩「胸の泉に」の一節です。

ああ 何億の人がいようとも かかわらなければ路傍の人
私の胸の泉に 枯れ葉いちまいも 落としてくれない
当園に興味もっていただいた方は見学にいらしてください。
ぜひ関わっていただきたいと思っています。

国立療養所 菊池恵楓園

熊本県

こくりつりょうようじょ きくちけいふうえん



園内の桜



ラビュタの道



園内庭園

入所者満足度と職員満足度のさらなる向上を目指して

本園は熊本県の北部に位置する合志市のほぼ中心部にあり、熊本市中心部より約 12 km と至便な立地です。明治 42 年に全国 5 カ所に公立療養所が開設され、そのうちの一つが当園でした。その後、昭和 16 年に国に移管され、平成 27 年 4 月からは退所したハンセン病回復者のための入院保険診療が可能となりました。当園では、ハンセン病後遺症の治療、人工透析等の診療等や、身体障害者認定、人権教育のための啓発・研修受入も可能です。また、当園にある社会交流会館は当園・ハンセン病の歴史を後世に伝えるために、平成 18 年に設置され令和 3 年現在ニューリアル中で、新たに建設した新歴史資料館とともに展示内容など大きな変更が加えられ、令和 4 年 5 月にグラントオープンします。

当園ではハンセン病回復者の療養生活を支えています。高齢化にハンセン病後遺症が加わって、不自由な方ばかりです。過去に隔離されていた関係で昔から園内包括ケアシステムが

施設概要

開所年月日	明治 42 年 4 月 1 日
敷地面積	589,520 m ²
所在地	熊本県合志市栄 3796 番地
電話番号	096-248-1131
診療科目	内科、精神科、皮膚科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

完成しています。現在はそのシステムの質の向上を目指しているところです。高度医療の必要な患者さんは他施設に紹介しており、概ね二次救急程度の急性期対応も出来る慢性期あるいは高齢者医療を行っています。しかしながら、患者が、基本、園内に限定されており、療養型の病院ですのではぼ定時の勤務が可能です。当直は約 2 回で救急車も来ません。そして、ワークライフバランスへの配慮も十分できるため、女性医師にもやさしい職場となっていて、産休・育休をとった医師や趣味の書道や音楽活動などを行っている医師もいます。園内に社会福祉法人のこども園も誘致運営しており、社会開放も進めています。在院日数や保険診療に縛られたくない患者中心の医療を望んでおられる医師、ハンセン病療養所やその歴史、高齢者医療や終末期医療、ハンセン病後遺症などに興味のある医師はまずは一度見学に来て下さい。お待ちしております。



園内の紅葉



阿蘇谷

国立療養所 星塚敬愛園

鹿児島県

こくりつりょうようじょ ほしづかけいあいえん



園内の桜並木



桜島



御歌碑

明るい敬愛園を共に築きましょう

星塚敬愛園は昭和 10 年 10 月 28 日に開設されました。後に鹿屋市長になる永田良吉氏による誘致運動のもと、開設された施設です。園名は、西郷隆盛が好んだ「敬天愛人」に由来します。鹿児島県大隅半島の中心部、鹿屋市の中心部から約 8 km 南に位置し、周囲はのどかな農地に囲まれています。当園の近くには日本最大規模を誇る「かのやバラ園」があります。春と秋には「かのやばら祭り」が開催され、様々なバラを鑑賞することができます。その景観は圧巻です。敬愛園の理念は「おだやかで やすらぎのある ほしづか」です。家族や社会から引き離され、これまで長期間に及ぶ療養所生活を余儀なくされた入所者の方々ですが、それでも「敬愛園で生活してよかった」、「あなたに会えてよかった」と思っただけのように、職員ひとり一人、日々の業務に努めています。また、園内には様々な職種の職員が一緒に勤務していますが、常に「入所者のために！」を忘れず

施設概要

開所年月日	昭和 10 年 10 月 28 日
敷地面積	370,698 m ²
所在地	鹿児島県鹿屋市星塚町 4204
電話番号	0994-49-2500
診療科目	内科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、病理診断科、歯科

に協力しながら取り組んでいます。

現在、当園は平均年齢 88 歳の高齢施設ですが、医療の原点があります。ハンセン病の後遺症以外に、加齢による心身の衰えを抱える入所者の方々への医療の提供は、まさに全人的医療と言えます。一方、より専門的、より高度な診療が必要な場合は、近隣の医療機関との協力連携が確立されています。

当園では周囲に左右されずに自分のペースにあった診療業務が可能です。そして自分の時間もしっかりと確保されています。ぜひ、私たちと一緒に動きませんか。

基本理念

～おだやかで やすらぎのある ほしづか～

私たちは、入所者の心に届く医療・看護介護・福祉を目指し、地域社会にとけこみ、ボランティアの連携など、明るい施設づくりに努めます。



かのやバラ園



夕暮れの給水塔

国立療養所 奄美和光園

鹿児島県

こくりつりょうようじょ あまみわこうえん



奄美の海



園内の桜



園内風景

自然に囲まれた環境で仕事をする

当園は、全国13施設の中で、入所者が一番少ない施設となっています。もともと奄美群島出身のハンセン病患者の収容施設として発足した経緯から現在の入所者もほとんど奄美群島出身者で占められています。かつては人里離れた奥地でしたが、和光トンネルの開通後は、市の中心部から車で5分の距離となっています。敷地は周囲を急峻な山で囲まれ、園内には小川が流れ、野鳥が飛び交い、奄美固有の木々が花を付けるなど豊かな自然が残っています。診療面では、病院機能評価の受審を通して良質の医療の提供を維持することに努めています。地域医療として皮膚科診療を行い、他の医療機関との関係も良好で、急患や重症・難治性疾患等の場合には、後方病院への紹介をスムーズに行うことができ、安心して診療活動に専念できる環境が整っています。

職員は療養所の中で入所者と一緒に時を過ごすという感覚で仕事をしています。園内には医療スタッフとして医師、コメディカル、看護師をはじめ、介護員、医療ソーシャルワーカー



園内農園



園内風景

施設概要

開所年月日	昭和18年4月5日
敷地面積	116,973㎡
所在地	鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
電話番号	0997-52-6311
診療科目	皮膚科、内科、外科、耳鼻科、眼科、歯科

などの職員がいます。医療形態は、病棟医療、在宅医療の他に介護施設での医療等、現在の日本社会で行われている医療が混在しており、規模は小さいですが、自分が理想とする医療形態を模索することができます。

仕事を離れると、時間が許す限り自然の懷に飛び込むことができます。奄美大島は、白い砂浜とコバルトブルーの海に囲まれていて、透明な海の中では珊瑚と色とりどりの熱帯魚に出会うことができ、ダイビングなどの様々なマリンスポーツを楽しむことができます。また、自然を満喫した後は、屋仁川通りで黒糖焼酎と島料理を堪能できます。夏の夕暮れ時は海辺のホテルでフェリーの出入りを眺めながらビールでのどを潤すこともできます。奄美和光園に勤める職員は、仕事と自然との触れ合いを上手に行っています。

心洗われるような自然の中で仕事をしてみませんか。奄美群島出身でそろそろ島に帰りたと思っている先生、離島医療に興味を持っている先生、皮膚科研修をしたいという先生がたの応募をお待ちしています。

国立療養所 沖縄愛楽園

沖縄県

こくりつりょうようじょ おきなわあいらくえん



社会交流会館



国北側海浜



正面玄関

ライフサポート ～こころ豊かな人生を応援する～

国立療養所沖縄愛楽園は、沖縄本島の北東方向、那覇市から約80km、沖縄海岸国定公園の景勝地「羽地内海」に浮かぶ周囲約16km、標高約55mの低い丘陵地の屋我地島北端に位置し、塩屋湾や国頭連山を遠望し、近くは、古宇利島と源為朝ゆかりの運天港を目撃にして、白浜青松風光絶景、恵まれた自然環境にあり、療養に最適の場所で入所者が療養生活をおくっています。各診療科において入所者の合併症の診察、治療を行い、また地域住民を対象とした保険診療及び退所者の入院病床として、保険診療病床の承認を得ています。沖縄愛楽園の基本理念は、「入所者・高齢者が安心して生活できる場の提供」です。この理念を成し遂げるため、私たちは、



屋我地島



座間味城跡



首里城



ハイビスカス

施設概要

開所年月日	昭和13年11月10日
敷地面積	300,632㎡
所在地	沖縄県名護市字済井出1192番地
電話番号	0980-52-8331
診療科目	内科、精神科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科

医療職・事務職に関わらず、全職員あげて「ライフサポート～こころ豊かな人生を応援する～」に取り組んでいます。沖縄では、お年寄りを大切にすることがあり長寿を祝う事が盛んです。88歳のトーカチ、97歳のカジマヤーのお祝いは特に盛んです。たとえ認知症になろうとも、この島に生まれたものはトーカチ、カジマヤーが誇らしいことは忘れません。入所者の誰もがトーカチはあたりまえ、笑顔でカジマヤー長寿を喜びあえるために、あなたもチーム愛楽園の一員となっただけませんか？日本一健康長寿の施設を夢見て入所者職員ともにニコニコ毎日過ごしていける園をめざしています。青い空青い海白い砂浜そして夜は満天の星空、ここ沖縄愛楽園にはあなたがいただく沖縄の風景があります。ゆったりとした時間の流れがあります。癒しの島沖縄で長寿のおじーおばーたちに私の方が癒されています。あなたもきっとそう感じると思います。是非一度、沖縄愛楽園にお越し下さいませ。お待ち申し上げております。

国立療養所 宮古南静園

沖縄県

こくりつりょうようじょ みやこなんせいえん



より良い医療、介護、福祉を目指して

宮古南静園は沖縄本島から 330km 離れた宮古島の海沿いにあり、日本最南端のハンセン病療養所です。園の東側には東シナ海が広がっており、沖の方にはリーフに打ち付けて白く砕ける波が見られます。また、ペランダの直下に浜を見下ろすことができ、砂浜近くに時々遊びに来るウミガメを見ることがあります。海中を岩が移動しているかと思っ

て見ていると、ウミガメが頭を出して呼吸します。当園の入所者にとって園は、生活の場であり療養の場でもあります。以前はこの海で漁をしたりして生活を営んでおられましたが、高齢化が進んだために今では海に出かける入所者はいません。その代わりにゲートボールを楽しんだり、室内でソフトバレーボールや輪投げに興じたりして、日々を楽しく過ごしておられます。

時に園外の医療施設受診が必要なものもありますが、皆さ



施設概要

開所年月日	昭和 6 年 3 月 7 日
敷地面積	154,670 m ²
所在地	沖縄県宮古島市平良島尻 888
電話番号	0980-72-5321
診療科目	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科

ん園内での治療を希望されることが多いため、医療スタッフは園内完結型の医療を提供できるように努めています。ハンセン病後遺症や高齢化による身体機能の低下が目立ってきておまして、日々の生活支援が大切です。その対応策として、生活支援チームを立ち上げて多角的な入所者支援を行っております。認知症対策も、その一環として行なっております。健康な人にとってはちょっとした事でも入所者にとっては困難な事。そのような事を支援して喜んで頂く。日々の目配り、気配りを密にして入所者の皆様に安心して暮らしていただくように努めております。

このように宮古南静園は高齢者医療が主な業務です。元ハンセン病患者様や高齢化した入所者に生き甲斐を持って生活して頂く事に貢献して頂ける意欲ある医師を募集しております。

国立ハンセン病療養所の現状

国立ハンセン病療養所の入所者の方々は、ほとんどがハンセン病そのものは治癒しているものの、視覚障害や手足の神経障害等の後遺障害を有しています。また、入所者の高齢化が進んでおり、生活習慣病などの合併症を有する他、身体機能や視覚機能の低下が進んでいます。さらに、長期にわたる療養所生活を送っていることなど、歴史的・社会的な特殊性を有しています。

そのため、療養所では、プライマリケアやリハビリテーション機能の充実を図っています。また、療養所内で対応できない専門的な医療を行う必要がある場合には、療養所外の医療機関と連携して行う委託治療を行うなど医療の充実に努めています。

また、国立ハンセン病療養所で提供される医療のほとんどが入所者の方々に対して行われていますが、近年、地域開放の観点から、地域住民の方々に対する外来を設けている施設もあります。

療養所はプライマリケアが主体で勤務は概ね規則的となっており、研究などの時間をとりやすい特徴があります。また臨床から離れており現場への復帰を希望される医師にも向いています。



国立ハンセン病療養所 施設見学・医師募集要項のご案内

国立ハンセン病療養所 医師募集要項

応募資格	日本国の医師免許を取得している者												
	<p>※国家公務員法第 38 条の規定により国家公務員となることができない者（以下のイ～ハに該当する者）は応募できません</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者 ロ 懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者 ハ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 												
診療科	内科、精神科、外科、整形外科、皮膚科、眼科等（施設紹介ページに掲載している診療科以外にも募集しています。）												
応募方法	詳細は各施設まで、直接お問い合わせください。※連絡先は「国立ハンセン病療養所一覧」(P13)をご覧ください。												
勤務条件	<table border="1"> <tr> <td>勤務地</td> <td>国立ハンセン病療養所（13 施設）のうち希望する施設</td> </tr> <tr> <td>勤務条件</td> <td>1 日 7 時間 45 分、週 38 時間 45 分勤務、原則土・日曜日及び祝日は休み、年次休暇 20 日（最大 40 日）、特別休暇（夏季休暇 3 日等）、宿日直業務あり</td> </tr> <tr> <td>給与</td> <td>「一般職の職員の給与に関する法律」における医療職俸給表（一）を適用し経験等を考慮の上で決定する。その他同法の規定による諸手当（初任給調整手当、通勤手当、宿日直手当、特勤手当等）を支給</td> </tr> <tr> <td>退職金</td> <td>国家公務員退職手当法により支給</td> </tr> <tr> <td>社会保険</td> <td>厚生労働省第二共済組合</td> </tr> <tr> <td>その他福利厚生</td> <td>園内保育所（施設により異なる）、人間ドックの補助 等</td> </tr> </table>	勤務地	国立ハンセン病療養所（13 施設）のうち希望する施設	勤務条件	1 日 7 時間 45 分、週 38 時間 45 分勤務、原則土・日曜日及び祝日は休み、年次休暇 20 日（最大 40 日）、特別休暇（夏季休暇 3 日等）、宿日直業務あり	給与	「一般職の職員の給与に関する法律」における医療職俸給表（一）を適用し経験等を考慮の上で決定する。その他同法の規定による諸手当（初任給調整手当、通勤手当、宿日直手当、特勤手当等）を支給	退職金	国家公務員退職手当法により支給	社会保険	厚生労働省第二共済組合	その他福利厚生	園内保育所（施設により異なる）、人間ドックの補助 等
勤務地	国立ハンセン病療養所（13 施設）のうち希望する施設												
勤務条件	1 日 7 時間 45 分、週 38 時間 45 分勤務、原則土・日曜日及び祝日は休み、年次休暇 20 日（最大 40 日）、特別休暇（夏季休暇 3 日等）、宿日直業務あり												
給与	「一般職の職員の給与に関する法律」における医療職俸給表（一）を適用し経験等を考慮の上で決定する。その他同法の規定による諸手当（初任給調整手当、通勤手当、宿日直手当、特勤手当等）を支給												
退職金	国家公務員退職手当法により支給												
社会保険	厚生労働省第二共済組合												
その他福利厚生	園内保育所（施設により異なる）、人間ドックの補助 等												

国立ハンセン病療養所 施設見学

国立ハンセン病療養所施設見学とは、国立ハンセン病療養所での勤務に関心のある医師の方々に対して、国立ハンセン病療養所を見学し、入所者が必要とする医療の内容やハンセン病等の歴史的背景、へき地・離島ならではの地域の特性などをみていただくものです。

見学は国立ハンセン病療養所での勤務に関心のある医師お一人からでも受け入れており、ご本人及びその家族の旅費を各国立ハンセン病療養所にて負担しております。

皆さまのご希望を伺った上で日程及び行程等を調整しますので、詳しくは、見学希望先の各国立ハンセン病療養所に直接お問い合わせください。

[過去の見学例]

星塚敬愛園（鹿児島県鹿屋市）

- 1 日目：鹿屋市内のホテルにて星塚敬愛園園長と懇談
- 2 日目：星塚敬愛園にて施設の概況説明及び施設見学
- 3 日目：鹿屋市内見学

見学の希望・お問い合わせ先：各施設へ直接お問合わせください。

※連絡先は「国立ハンセン病療養所一覧」(P13)をご覧ください。

国立ハンセン病療養所 医師募集について

よくあるご質問

Q 何歳まで勤めることができますか。

A 国家公務員の医師の定年は 65 歳です。
※例外的に 68 歳まで勤務することも可能。

Q 給与はどのくらいですか。

A 医師の年収（見込み）は約 1,000～1,800 万円です。
※勤務地、手当の支給状況によって変動があります。

Q 勤務地は選べますか。

A 勤務を希望する園で面接等を受けていただくことができます。
※希望する園が定数を充足している等の理由により、応募を行っていない場合があります。

Q 育児・介護をしながら勤務することは可能ですか。

A 国家公務員として様々な両立支援制度を利用することができます（産前・産後休暇、育児休業、子の看護休暇、介護休暇、早出・遅出勤務 等）。また、職員が利用できる園内保育所のある施設もあります。

Q 宿舎はありますか。

A 各施設の宿舎に入居できます。（無料）

Q どのような福利厚生がありますか。

A 厚生労働省第二共済組合に加入することとなり、組合員として各種の給付を受けることができます（出産時、災害時 等）。その他、組合員とその家族の方々のための、様々な制度・事業があります（宿泊施設利用割引、引越割引 等）。

Q 兼業をすることは可能ですか。

A ハンセン病療養所の医師は特例により「兼業」が可能です。正規の勤務時間内に、ハンセン病療養所以外の医療機関等において、報酬を得て、診療を行うことが可能になりました。

Q 入所者の診療は、園内の医師ですべて行うのでしょうか。

A ご専門外の医療が必要な場合は、外部の医師に来園してもらうことや提携先の医療機関への入院などの対応をとることとなります。